

地域資源・観光資源の活用

- ・東御市の貴重な歴史文化財を活かしたツーリズムの開発。
- ・歴史文化、健康、スポーツ、ワインなどを融合したツーリズムの開発。
- ・農家が説明する体験、八重原米に関わる体験などはどうか。
- ・インバウンド含めた高付加価値の観光の未来について。
- ・湯の丸高原や池の平湿原周辺などの自然環境、高山植物の保全。
- ・サイクリングコースなど「作って終わり」ではなく、活かす方法まで考えたい。
- ・各エリア、事業者独自、学生との共同作成など、特色あるマップ作り。
- ・観光脚の訪れる場所が限定的で、地域全体の魅力が伝わっていない。

事業戦略・プロモーション

- ・観光を通して、東御市がどうなってほしいのか？いまひとつ見えない。
- ・東御の観光において、どんな方に来てもらいたいのか、というのが見えない。
- ・各事業者によってターゲットが違いすぎるので、東御市観光をコーディネートできる事業者を誘致しても良いのでは？
- ・観光のためのプラットフォーム体制や、DMOの役割などがよくわからない。
- ・旅の下調べはネットが主流なので、マップも観光情報もデジタルで取得できるような仕組みが欲しい。
- ・東御市を知ってもらうための緻密な発信戦略は必要なのでは？
- ・東御市単体ではなく、広域で連携した周遊の造成と発信。

観光客の受け入れ環境

- ・ワインツーリズムの話題を聞くが、実際に観光客を受け入れることができるワイナリーがどれくらいあるのか？
- ・観光客にとって魅力的な飲食店や宿泊施設が少ない。
- ・民間の事業者が参入しやすい環境づくり。
- ・インバウンド向けのおもてなし、特産品を活かした対応。

交通・アクセスの整備

- ・ワインツーリズムのための二次交通の開発。
- ・バイクを止められる場所が少ない。ツーリング需要への対応。

地域住民との連携や意識

- ・移住者が地域の方々の理解や協力をどう得るか。
- ・既存団体（各地区の協議会）との連携の方法。
- ・地域とのなじみ方について地元の方の意見を聞きたい。
- ・観光振興について、地元民のメリットは何か？
- ・地元の人でも東御の良さについて知らないことが多い。
- ・地元の高齢者にはワインという地場産業が認識されていない。もっと身近に出来る活動は無いのか。
- ・柰津小とリュードヴァン様の交流は大変良い。地元民とワイナリーの交流がもっと盛んになると嬉しい。